令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	79	学校名	浜松城北工業高等学校	校長名	寺田 弘隆
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を高める授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業に、自分の考えを表現する場面や対話する場面が取り入れられていて、理解を深めることができる」と答えた生徒90%以上 ・授業アンケートで「授業が分かる」と答えた生徒80%以上 ・授業参観した教員 100% ・観点別評価の着実な実施、具体的な評価規準の作成 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私が参観した授業では、自ら考え表現できている生徒が大勢いた。説明も立派でした。 ・ 授業参観した教員・・・空いた時間を利用してという考えで目標を持つと、なかなか実行できないことがあり、あっという間に一年が経ってしまう。参観の周知・計画・意識・実行へとつなげたい。
	基礎力の定着、学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「力がついたと実感できる」と答えた生徒 80%以上 ・学習時間調査で「1日の学習時間 60分以上」と答えた生徒 70%以上 ・「進路を意識した具体的な取組をしている」と答えた生徒 80%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書をしないのでついスマホを見てしまう大人が増えていいるのと同じで、生徒たちも安易な事の方を選んでしまいがち。大学進学より就職が多いとなると、学習の必要性を強く感じない生徒もいるかもしれない。基礎学力が社会に出て十分役立ってくることを伝えたい。 ・ 自主性はどのように育つか、学習以外の面で自分で計画を立て実行し達成感を得るような場面を設けることもいいと思う。 ・ 学習時間平均が34分/日は短い気がするが実態は全く勉強しない生徒としっかり勉強する生徒が二極化してい

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
					<p>るのではないか。本人の自覚と家庭環境によるところが大きい。学習時間ゼロの生徒に対する学習習慣づけが必要と思う。</p>
	資格取得・検定合格に向けた指導	<ul style="list-style-type: none"> ・技能検定合格 3級 60人以上 2級 5人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校側が課題としている「生徒の意欲向上と資格・検定の目的を伝える必要あり」の通りだと思う。 ・ 資格取得が目的になってはいけませんが学習習慣をつける上で意義ある取り組みと思う。 ・ 必須の資格などを明確にされると取り組み姿勢も変わるのではないかと思います。 ・ 技術面以外に会計・財務的なものも入れたら如何でしょうか。将来役に立ちます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・電気工事士合格 2種 30人以上 1種 15人以上 	B		
		<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術検定合格 3級 70%以上 2級 50%以上 	B		
		<ul style="list-style-type: none"> ・計算技術検定 3級合格 80%以上 	A		
		<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図検定合格 30人以上 	A		
イ	<p>基本的生活習慣の確立、規範意識の育成、他者を尊重する態度の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻者の割合 85%以上、遅刻延べ数前年度比 10%減 ・前年比半減（特に加害） ・交通事故ゼロ ・「校内スマホルールを守っている」と答えた生徒 95%以上 ・「自分も他の人も 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城北工業高校の就職率の高さや就職先から評判が良いのは、規範意識が高く素直な生徒が多いからだと思う。訪問時に生徒の様子を見て感じます。 ・ 他者を尊重する態度の育成が達成されている要因の一つには、取組エ（共生意識の醸成・特別支援教育の充実）の教育がなされていることがあげられると考える。 ・ 遅刻について、朝読書の活発化で改善方向に向くとよいと思う。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
		大事にしている」と答えた生徒 90%以上			
	いじめや不登校生徒への相談体制の整備、教職員の対応能力向上	<ul style="list-style-type: none"> いじめに関する調査を年2回実施 「信頼できる先生がいる」と答えた生徒 85%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 職員、学校側の努力が認められる。それにより生徒の意識も向上したのだと思う。
ウ	望ましい勤労観・職業観の育成、系統的なキャリア教育の展開	<ul style="list-style-type: none"> 「必要な進路情報が入手出来ている」と答えた生徒 85%以上 インターンシップに60人程度が参加し、生徒の自己評価75点以上及び企業の評価A(良好)がともに75%以上 1次募集での内定率85%以上、年内内定率100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生の活躍も良い結果につながっていると思われます。いい伝統と守ってほしいです。 「ロボティクス実習」「ロボットアイデア甲子園」に携わった立場として多くの生徒が明るく前向きに取り組む姿勢に好感を抱いた。それらを通じ会社組織に触れる機会を通じ自身のキャリアについて考えるきっかけになれば幸いである。
	共生意識の醸成、特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業15件以上 特別配慮を必要とする全ての生徒について情報共有の場を設ける。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 分校の定員増にともない難しい部分があると思うが、何とか工夫して継続してほしいです。
エ	特別活動や部活動を通じた、協調性・積極性・達成感・忍耐力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活に達成感・満足感を持っている」と答えた生徒80%以上 「部活動に積極的に参加し、やりがいを感じる」と答えた生徒80%以上 休養日及び1日の活動時間を遵守した部活動の割合80%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育6年においても部活動はなくなり、地域に移行されていく。高校での部活動について意義や今後のあり方等議論して方向性を決めていかなければならないと考える。 部活動へは極力参加をできる環境が望ましく思います。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
	読書活動を通じた知性・感性の育成	・「1か月に1冊以上の本を読んだ」と答えた生徒70%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 是非継続していただきたい。先生方のおすすめの本や生徒同士で何を読んだかなどの情報交換があればいいと思う。 デジタルの時代で本に触れる機会が少ない状況下でこの回答結果は素晴らしいと思う。大変意義ある取り組みだと思うので今後も継続していただきたい。 最低でも一冊読んで欲しいですね。
	社会貢献活動を通じた社会性・人間関係形成能力の育成	・学校の社会体験活動等に参加した生徒50人以上	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 漠然とした目標や情報不足、達成感の共有ができていないことに問題があるのではないか。 参加意識を醸成するための環境教育がもっと必要かもしれませんね。
	環境意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・「省エネや分別など環境を意識した行動をしている」と答えた生徒85%以上 ・ゴミの分別100% ・課題研究で環境意識を盛り込んだ取組を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特にゴミ問題では、これをしていないと最終的にこうなってしまうという結果から考えて行動できるといい。マイクロプラスチック問題など環境は世界規模で捉えたい。 ・環境意識の高揚に関する取り組みであるが、根幹は「道徳」教育の延長だと思う。多様性、個性、個別価値観を尊重しすぎ結果的に分断社会を生み出す遠因になる中だからこそ「道徳」教育の真価が問われると思う。
	技術系各種競技大会への積極的参加	・各種大会での上位入賞	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これぞ城北工業高校と言われるところですので、先生方も生徒も引き続き頑張っていたきたいと思います。 ・すばらしい成果です。
オ	外部との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を3回実施 ・マイスター・ハイスクールの実施計画書に記載した取組の着実な実施及び自走化 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスター・ハイスクールは素晴らしい事業だと実感しています。取組当初、令和7年度は深化期と（自走化？）とありましたので、今までと違った形での外部との連携が必要となります。生徒のため、地域のためにも引き続き

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
		に向けた準備			<p>お願いしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の皆さんの学ぶ姿勢を素晴らしく思います。
	中学校への広報、中高連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> 一日体験入学、学校公開への参加者の前年度比増 HPリニューアル、インスタグラム等の充実と更新頻度の向上 志願者数の増加 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや学校案内のリーフレットが今年度だいぶ変わって見やすくなった、特に中学生が興味を持つような内容や作りになっている。生徒会のインスタもいいと思う。中学生への広報だけでなく、保護者や地域への情報発信にもつながっている。
	保護者への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援システムの生徒・保護者の登録率100%、学校の情報が分かりやすく伝えられていると答えた生徒・保護者が90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の要望もあり情報提供を強化された点は評価したい。が、高校生(特に多くの生徒は卒業後にはすぐ社会人となる)は自己管理、自主性や能動的な行動が求められるので、それが弱まらないようにしたい。
	信頼される事務室	<ul style="list-style-type: none"> 要望等への対応100% 会計を担当する教職員が円滑に業務を遂行 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 事務室内で情報が共有されていて親切丁寧だと感じた。
カ	みんなで円滑処理、休暇は休もう	<ul style="list-style-type: none"> 出張関係書類の漏れのない記載と期限内の提出 ペーパーレス化により、業務が改善したと答えた教職員70%以上 前年同月時間外在校時間を5%削減 夏季休暇の完全消化 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 年々改善されていて、非常にいい結果と受け止めています。先生方の業務改善と休養が生徒への教育につながります。教職員の皆様本当にありがとうございます。